



名詞にかかる連語的修飾構造の日中対照研究：  
「の」と"的"の使用の有無を中心に

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 張, 麟声 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24729/00002752">https://doi.org/10.24729/00002752</a>

名詞にかかる連語的修飾構造の日中対照研究  
「の」と“的”の使用の有無を中心に

張 麟 声

Journal of Language and Culture  
Language and Information  
Vol. 4 (2009)  
Department of Language and Culture  
School of Humanities and Social Sciences  
Osaka Prefecture University

言語文化学研究（言語情報編）  
2009・3 第4号抜刷  
大阪府立大学人間社会学部 言語文化学科

# 名詞にかかる連語的修飾構造の日中対照研究

## 「の」と“的”の使用の有無を中心に

張 麟 声

### 1 はじめに

中国語と日本語は、「学校的椅子 学校の椅子」のように、名詞が名詞にかかる名詞修飾構造が対応している上に、多くの漢語語彙を共有している。そのために、中国語を母語とする学習者は、日本語を学習ないし使用していく過程で、無意識に中国語の知識を生かしていく。このこと自体はすでに経験的によく知られているが、しかしながら、中国語の知識の転移、つまり母語転移がどこまでがプラス転移になり、どこまでがマイナス転移になるか、というより、そもそもどこまで転移しているか、といったことでさえ、これまで十分に研究されてきたとは言えない。こういった現状を踏まえて、より体系的な習得研究のための基礎作りとして、本稿では、日本語の「の」と中国語の“的”を中心に、名詞にかかる連語的修飾構造の日中対照研究を行い、「の」と“的”の対応・非対応関係を整理する。

「の」と“的”の対照研究として、陸丙甫(2000)、陸丙甫(2008)がある。以下示す分布のように、“的”は名詞、動詞、形容詞の後につくが、指示詞、数量詞の後にはつかない、一方、「の」は名詞、指示詞、数量詞の後にはつくが、動詞、形容詞の後には付かないといった言語事実を踏まえて、“的”と「の」の性格がより区別的かそれともより描写的かを議論したものである。

指示詞	数量詞	名詞	動詞	形容詞
			的	
の				

「の」と“的”の全体的な性格としての相違については、的確にとらえられていると言えるが、個々のケースにおける両者の対応・非対

応関係を綿密に記述することを目指そうとしたわけではないので、本稿の立場からでは、直接参照できる研究ではない。

一方、「の」と“的”に関する日本語学、中国語学といった個別言語学的研究の蓄積はかなりある。その中で、日本語学的研究の主流が修飾部一つ、ヘッド一つからなる連語論的な研究であるのに対して、中国語学においては、どちらかという、テキストにおける“的”の顕現と省略について優れた論考が多数なされている。だが、本稿の目的はあくまで連語論的なケースにおける「の」と“的”の使用の有無を明らかにすることなので、中国語学におけるそのような優れた論考を現時点では生かすことはできない。

本稿では、第2節において、鈴木康之(1978~1979)を踏まえながら、使用頻度、日中両言語の対応非対応関係及び術語の分かりやすさなどのファクターにも留意する形で、修飾部とヘッドの意味関係を以下12種類に分けて「の」と“的”の対照研究を行い、第3節をまとめとする。

- <1> 修飾部がヘッドの所有者である場合
- <2> 修飾部がヘッドの擬似所有者である場合
- <3> 修飾部がヘッドの「主」である場合
- <4> 修飾部とヘッドが物・人とその周囲という関係である場合
- <5> 修飾部がヘッドの存在場所か存在に関わる時間である場合
- <6> 修飾部がヘッドのソース、ゴールまたは相手である場合
- <7> 修飾部がヘッドの主体か対象である場合
- <8> 修飾部がヘッドの原産地か出身地である場合
- <9> 修飾部がヘッドの素材である場合
- <10> 修飾部がヘッドの属性か状態である場合
- <11> 修飾部がヘッドの職位・身分である場合
- <12> 修飾部がヘッドの内容や様式である場合

## 2 分析

### <1> 修飾部がヘッ드의所有者である場合

この場合、修飾部は人の名前や機関・組織の名前のような固有名詞か、人称代名詞で、ヘッドは普通名詞である。

日本語では、以下のように、修飾部及びヘッドがいかなる名詞、或いは人称代名詞であろうと、その所有関係が持ち主と持ち物とであろうと、創作者と創作物であろうと、「の」が必須である。

- |     |                     |                |
|-----|---------------------|----------------|
| (1) | 鈴木君 <u>の</u> かばん    | [ 固有名詞+普通名詞 ]  |
| (2) | 京都大学 <u>の</u> キャンパス | [ 固有名詞+普通名詞 ]  |
| (3) | 彼女 <u>の</u> 財布      | [ 人称代名詞+普通名詞 ] |
| (4) | 庵さん <u>の</u> 著書     | [ 固有名詞+普通名詞 ]  |
| (5) | 君 <u>の</u> 作文       | [ 人称代名詞+普通名詞 ] |

中国語でも、以下のように“的”を使わなければならない。

- |      |                  |                |
|------|------------------|----------------|
| (1)' | 鈴木 <u>的</u> 书包   | [ 固有名詞+普通名詞 ]  |
| (2)' | 京都大学 <u>的</u> 校园 | [ 固有名詞+普通名詞 ]  |
| (3)' | 她 <u>的</u> 钱包    | [ 人称代名詞+普通名詞 ] |
| (4)' | 庵先生 <u>的</u> 著作  | [ 固有名詞+普通名詞 ]  |
| (5)' | 你 <u>的</u> 作文    | [ 人称代名詞+普通名詞 ] |

### <2> 修飾部がヘッ드의擬似所有者である場合

人間的、社会的関係で結ばれている修飾部とヘッドは、<1>のように、前者が後者の所有者とは言えないが、どちらかという、そのような関係に近く、また、他に適切な表現が見つからなかったのも、とりあえず「擬似所有者」と名付ける。この場合、修飾部は人の名前、機関・組織の名前のような固有名詞か、人称代名詞で、ヘッドは普通名詞である。

日本語では以下のように「の」が必須である。

- |     |                  |               |
|-----|------------------|---------------|
| (6) | 林さん <u>の</u> 妹さん | [ 固有名詞+普通名詞 ] |
| (7) | 大阪大学 <u>の</u> 学生 | [ 固有名詞+普通名詞 ] |
| (8) | 山田さん <u>の</u> 会社 | [ 固有名詞+普通名詞 ] |



ては、音韻上の制約では、上の「他们国家（彼らの国家）」のように、“的”がなくともよさそうだが、実際は以下の例のように“的”が必須で、ないと落ち着きが悪くなる。その理由の解明については、今後の課題とする。

(12) × 你们弟弟                      你们的弟弟（あなたたちの弟）

(13) × 他们妹妹                      他们的妹妹（彼らの妹）

### <3> 修飾部がヘッドの「主」である場合

修飾部とヘッドが全体と部分の関係で結ばれている場合である。修飾部は普通名詞の場合もあれば、人の名前のような固有名詞や人称代名詞の場合もあり、一方、ヘッドは基本的に普通名詞である。

日本語では、以下のように、「の」が必須である。

(14) 瓶のふた                      [普通名詞+普通名詞]

(15) 魚の頭                      [普通名詞+普通名詞]

(16) 『昂』の歌詞                      [固有名詞+普通名詞]

(17) 山田君の目                      [固有名詞+普通名詞]

(18) 鈴木さんの身長                      [固有名詞+普通名詞]

(19) わたしの手                      [人称代名詞+普通名詞]

(20) あなたの資質                      [人称代名詞+普通名詞]

これに対して、中国語では修飾部が普通名詞、つまり定指示でなければ、以下のように“的”を用いないのが一般的である。

(14)' 瓶盖儿                      [普通名詞+普通名詞]

(15)' 鱼头                      [普通名詞+普通名詞]

一方、修飾部が固有名詞や人称代名詞、つまり定指示であれば“的”を用いなければならない。

(16)' 《昂星》的歌词                      [普通名詞+普通名詞]

(17)' 山田的眼睛                      [固有名詞+普通名詞]

(18)' 铃木的身高                      [固有名詞+普通名詞]

(19)' 我的手                      [人称代名詞+普通名詞]

(20)' 你的天赋                      [人称代名詞+普通名詞]

ここで大事なのは修飾部が定指示か否かで、たとえば、例(14)(15)の修飾部を定指示に変えれば、以下のように、中国語でも“的”を使わなければならない。

(21) この瓶のふたは大変高級だ。

(21)' 这个瓶子的盖儿很高级。

(22) その魚の頭は本当に大きい。

(22)' 那条鱼的脑袋真大。

もちろん、例(21)'、例(22)'は、次の例(21)"、例(22)"のように、“瓶”と“魚”を主題として述べることもできる。この場合であれば、“的”を必要としない。しかし、それは「大主題、小主題+述部」といった表現構造になっているためである。例(21)'、例(22)'のように、「主題+述部」という二重構造で述べていく場合は、“的”がなければならない。

(21)" 这个瓶子，盖儿很高级。 (この瓶は、ふたが大変高級だ)

(22)" 那条鱼，脑袋真大。 (その魚は、頭が本当に大きい)

#### <4> 修飾部とヘッドが物・人とその周囲という関係である場合

「物・人とその周囲」という言い方は、熟したものではないが、要するに、「机の上」「彼の隣」のようなタイプの組み合わせである。この場合、修飾部は基本的に物事の名前のような普通名詞か、人の名前のような固有名詞かであり、ヘッドは「上」「下」「そば」「左」のような、中国語学では「方位詞」、日本語学では「相對名詞」と呼ばれる一群である。

日本語では以下のように、「の」が必須である。

(23) 机の上 [普通名詞+相對名詞]

(24) 箱の中 [普通名詞+相對名詞]

(25) 講堂の左 [普通名詞+相對名詞]

(26) 鈴木君のそば [固有名詞+相對名詞]

一方、中国語では、以下のように、“的”は普通不要である。

(23)' 桌子上(面) [普通名詞+方位詞]

(24) ' 箱子里(面) [普通名詞+方位詞]

(25) ' 礼堂左边 [普通名詞+方位詞]

(26) ' 鈴木旁边 [固有名詞+方位詞]

だが、具体的な例によって言語表現の自然さはさまざまだが、以下のように、“的”を付けても非文だとは言えない。

(23) ” 桌子的上面 [普通名詞+方位詞]

(24) ” 箱子的里面 [普通名詞+方位詞]

(25) ” 礼堂的左边 [普通名詞+方位詞]

(26) ” 铃木的旁边 [固有名詞+方位詞]

#### <5> 修飾部がヘッドの存在場所が存在に関わる時間である場合

存在場所を表す修飾部は、普通名詞または固有名詞の後に、中国語学では「方位詞」、日本語学では「相对名詞」と名づけられている「上」「下」のような類を加えて形作られる。一方、修飾部が存在に関わる時間を表すときは、基本的に時間を表す普通名詞である。こういった修飾部に対して、ヘッドは、物や人を表す普通名詞、固有名詞、または動詞的要素を持つ動名詞などさまざまである。

この場合、日本語では、以下のように、「の」は必須である。

(27) 机の上の本 [ <普通名詞+相对名詞> + 普通名詞 ]

(28) 鈴木君のそばの女性 [ <固有名詞+相对名詞> + 普通名詞 ]

(29) 昭和初期の日本 [ 普通名詞 + 固有名詞 ]

(30) 昨日のデモ [ 普通名詞 + 動名詞 ]

そして、この場合、中国語でも以下のように、“的”を使わなければならない。

(27) ' 桌子上的书 [ <普通名詞+方位詞> + 普通名詞 ]

(28) ' 鈴木旁边的女性 [ <固有名詞+方位詞> + 人を指す定指示句 ]

(29) ' 昭和初期的日本 [ 普通名詞連語 + 固有名詞 ]

(30) ' 昨天的游行 [ 普通名詞 + 動名詞 ]

## &lt;6&gt; 修飾部がヘッドのソース、ゴールまたは相手である場合

ソース、ゴールまたは相手が修飾部に来的时候、日本語では以下のようにその修飾部が「名詞＋格助詞」という形になる。格助詞の前に来る名詞は、場所の名前か人の名前のような固有名詞で、ヘッドは人の名前のような固有名詞か物事の名前のような普通名詞である。

この場合、日本語では、以下のように、「の」が必須である。

- (31) 東京からのお客さん [ <固有名詞+格助詞> + 普通名詞 ]  
 (32) 福岡への長距離バス [ <固有名詞+格助詞> + 普通名詞 ]  
 (33) 日本橋までの距離 [ <固有名詞+格助詞> + 普通名詞 ]  
 (34) 鈴木君との約束 [ <固有名詞+格助詞> + 普通名詞 ]

この場合は、中国語でも“的”が必須である。ちなみに、中国語では、格助詞に相当する前置詞だけではなく、ケースによっては動詞まで修飾部に現れる。波線部分がそのような動詞である。

- (31)' 从东京来的客人 [ <前置詞+固有名詞+動詞> + 普通名詞 ]  
 (32)' 开往福冈的长途汽车 [ <動詞+前置詞+固有名詞+ > + 普通名詞 ]  
 (33)' 到日本桥为止的距离 [ <前置詞+固有名詞+語尾> + 普通名詞 ]  
 (34)' 和铃木的约会 [ <<前置詞+固有名詞> + 普通名詞 ]

## &lt;7&gt; 修飾部がヘッドの主体か対象である場合

修飾部は固有名詞か普通名詞で、ヘッドは動名詞的なものである。日本語では以下のように「の」が必須である。

- (35) 鈴木君の働きかけ [ 固有名詞 + 動名詞 ]  
 (36) 田中君の演奏 [ 固有名詞 + 動名詞 ]  
 (37) 稲の取り入れ [ 普通名詞 + 動名詞 ]  
 (38) 自転車の修理 [ 普通名詞 + 動名詞 ]

中国語でも以下のように、“的”がなければならない。

- (35)' 铃木的鼓动 [ 固有名詞 + 動名詞 ]  
 (36)' 田中的演奏 [ 固有名詞 + 動名詞 ]  
 (37)' 水稻的收割 [ 普通名詞 + 動名詞 ]  
 (38)' 自行车的修理 [ 普通名詞 + 動名詞 ]

## &lt;8&gt; 修飾部がヘッドの原産地か出身地である場合

この場合は、一般に修飾部は原産地か出身地を表す固有名詞で、ヘッドは普通名詞である。

日本語では、以下のように、「の」が必須である。

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| (39) 日本 <u>の</u> 車    | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (40) フランス <u>の</u> 香水 | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (41) ドイツ <u>の</u> 女性  | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (42) 中国 <u>の</u> 子供   | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |

一方、中国語では、このケースにおいては普通以下のように「的」を用いない。

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| (39) ' 日本車   | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (40) ' 法国香水儿 | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (41) ' 德国女性  | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (42) ' 中国小孩儿 | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |

もっとも、この場合は以下のように“的”を入れても構わない。“的”を入れない場合の引き締まった感じはなくなるが、落ち着きが悪くなるほどのこともない。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| (39) " 日本的汽车  | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (40) " 法国的香水儿 | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (41) " 德国的女性  | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |
| (42) " 中国的孩儿  | [ 固有名詞 + 普通名詞 ] |

ところで、日本語でも、修飾部もヘッドも音読される漢語的なものならば、「日本車」「韓国人」のように、「の」はなくてもよいらしい。もっとも、この場合の「車(しゃ)」や「人(じん)」は独立した名詞ではなくて、拘束形態素だから、厳密に考えれば、本稿において同一レベルで議論することは適切ではない。しかし、「日本車」「韓国人」などの中国語の言い方に慣れ親しんでいる中国語話者が、日本語の「日本車」「韓国人」といったものに接したときに、「中国語の“日本车”“韓国人”と表記や意味はほぼ同じだが、でも構造は違う」と研究者のように考えることはまずないだろう。そして、彼らはおそらく中国語の

規則を生かして、「日本酒」「日本人民」「日本自民党」のように、そのような組み合わせが日本語にあるかどうかと関係なく、表現していくであろう。漢語語彙の過剰的な連鎖という性格の問題として、習得研究で明らかにされたいところの1つである。

#### <9> 修飾部がヘッドの素材である場合

この場合は、一般に修飾部は材料名で、ヘッドは物の名前であり、どちらも普通名詞である。

日本語では、以下のように「の」は必須である。

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| (43) 金 <u>の</u> ネックレス   | [普通名詞+普通名詞] |
| (44) ダイヤモンド <u>の</u> 指輪 | [普通名詞+普通名詞] |
| (45) 香木 <u>の</u> 扇子     | [普通名詞+普通名詞] |
| (46) プラスチック <u>の</u> お椀 | [普通名詞+普通名詞] |

一方、中国語の場合も一般に修飾部は材料名で、ヘッドは物の名前であり、どちらも普通名詞であるが、以下のように、“的”は不要であり、それを加えると落ち着きが悪くなる。

- |            |             |
|------------|-------------|
| (43)' 金项链儿 | [普通名詞+普通名詞] |
| (44)' 钻石戒指 | [普通名詞+普通名詞] |
| (45)' 香木扇子 | [普通名詞+普通名詞] |
| (46)' 塑料碗  | [普通名詞+普通名詞] |

#### <10> 修飾部がヘッドの属性か状態である場合

属性といえ、まず形容詞を連想し、状態と言え、まず動詞を連想するが、類型論研究の世界で既に明らかにされているように、そのどちらを表すのにも形容詞、動詞、名詞が使われることがある。この場合、修飾部はさまざまな品詞が使われるのに対して、ヘッドは基本的に物の名前のような普通名詞か人の名前のような固有名詞である。

日本語では、以下のように、動詞と形容詞にはそれぞれの連体形があるので、名詞の場合にだけ「の」が必要である。

- |            |             |
|------------|-------------|
| (47) 美しい風景 | [イ形容詞+普通名詞] |
|------------|-------------|

- (48) 紫色の帽子 [名詞+普通名詞]  
 (49) 独特な味 [ナ形容詞+普通名詞]  
 (50) 失敗した結婚 [動詞+普通名詞]  
 (51) 耳が遠い田中君 [形容詞+固有名詞]  
 (52) エイズの政治家 [普通名詞+普通名詞]

一方、中国語では、以下のように、すべて“的”を使ってよい。既によく知られている通り、孤立語の中国語では、いかなる品詞でも、名詞を修飾する場合は基本的に“的”が使えるのである。

- (47)' 美丽的风景 [形容詞+普通名詞]  
 (48)' 紫色的帽子 [名詞+普通名詞]  
 (49)' 独特的味道 [形容詞+普通名詞]  
 (50)' 失败的婚姻 [動詞+普通名詞]  
 (51)' 耳朵背的田中 [形容詞+固有名詞]  
 (52)' 得着爱滋病的政治家<sup>1</sup> [動詞+普通名詞]

もっとも、例によって、“的”を使わなくてもよい場合がある。例えば、(47)'と(48)'がそうである。(47)'の“美丽”は形容詞、(48)'の“紫色”は名詞であり、名詞と形容詞は音韻上の制約さえ掛からなければ直接名詞を修飾することができるからである。一方、例(51)'も形容詞的だが、この場合は単純な形容詞ではなくて、形容詞句だから、“的”がなければならないのである。

#### <11> 修飾部がヘッドの職位・身分である場合

このケースは連体修飾マーカの「の」が、「学生の前田さん」「学生である前田さん」のように、「である」に置き換えられるために、「同格」と名付けられることもある。だが、本当に同格ならば、「前田さんの学生」のように、2つの名詞の前後関係をひっくり返しても同じ意味になるはずだが、そうはならないので、「同格」という術語を使わないことにする。

<sup>1</sup> 例(52)'の中国語は例(52)の日本語と違い、修飾部は動詞になっている。日本語と違って、病名だけで修飾できないからである。

この場合、修飾部は一般に資格や身分を表す普通名詞で、ヘッドは人の名前のような固有名詞である。

日本語においては以下のように、「の」が必要である。

(53) 総理大臣の前田君 [普通名詞+固有名詞]

(54) 弁護士の鈴木さん [普通名詞+固有名詞]

一方、中国語では“的”は使わない。それを加えると、たいへん不自然になる。

(53) ' 总理前田 [普通名詞+固有名詞]

(54) ' 律师铃木 [普通名詞+固有名詞]

#### <12> 修飾部がヘッドの内容や様式である場合

修飾部は固有名詞か物事の名前のような普通名詞だが、ヘッドは物事の名前のような普通名詞か動名詞である。

日本語では以下のように、「の」を使わない。

(55) 英語辞典 [固有名詞+普通名詞]

(56) アメリカ研究 [固有名詞+動名詞]

(57) 油絵 [普通名詞+普通名詞]

(58) フランス料理 [固有名詞+普通名詞]

中国語でも以下のように、“的”は必要ではない。

(55) ' 英语词典 [固有名詞+普通名詞]

(56) ' 美国研究 [固有名詞+動名詞]

(57) ' 油画 [普通名詞+普通名詞]

(58) ' 法国菜 [固有名詞+普通名詞]

### 3 まとめ

以上、12のケースに分けて詳しく見てきたが、両言語の対応非対応の状況を論理的に考えれば、この12のケースに関しては、次の9つの種類が立てられる。

日本語では「の」を、中国語では“的”を使うケース；日本語では「の」を、中国語では“的”を使わないケース；日本語では「の」

を，中国語では“的”を使っても使わなくてもよいケース； 日本語では「の」を使うが，中国語では“的”を使わないケース； 日本語では「の」を使わないが，中国語では“的”を使うケース； 日本語では「の」を使うが，中国語では“的”使っても使わなくてもよいケース； 日本語では「の」を使わないが，中国語では“的”使っても使わなくてもよいケース； 日本語では「の」を使っても使わなくてもよいが，中国語では“的”を使うケース； 日本語では「の」を使っても使わなくてもよいが，中国語では“的”を使わないケース。

しかし，実際には， ， ， ， ， にしか該当する場合がなく，その分布状況は次のとおりである。

日本語では「の」を，中国語では“的”を使うケース：

- <1> 修飾部がヘッ드의所有者である場合
- <2> 修飾部がヘッ드의擬似所有者である場合の，修飾部が人の名前するとき
- <3> 修飾部がヘッ드의「主」である場合の，修飾部が定指示であるとき
- <5> 修飾部がヘッ드의存在場所か存在に関わる時間である場合
- <6> 修飾部がヘッ드의ソース，ゴールまたは相手である場合
- <7> 修飾部がヘッ드의主体か対象である場合
- <10> 修飾部がヘッ드의属性か状態である場合の，修飾部が名詞のとき

日本語では「の」を，中国語では“的”を使わないケース：

- <12> 修飾部がヘッ드의内容や様式である場合
- 日本語では「の」を使うが，中国語では“的”を使わないケース：
- <2> 修飾部がヘッ드의擬似所有者である場合の，修飾部が代名詞のとき
  - <3> 修飾部がヘッ드의「主」である場合の，修飾部が定指示ではないとき
  - <9> 修飾部がヘッ드의素材である場合
  - <11> 修飾部がヘッ드의職位・身分である場合

日本語では「の」を使わないが，中国語では“的”を使うケース

- <10> 修飾部がヘッ드의属性か状態である場合の，修飾部が形容詞か動詞のとき

日本語では「の」を使うが、中国語では“的”を使っても使わなくてもよいケース

<4> 修飾部とヘッドが物・人とその周囲という関係である場合

<8> 修飾部がヘッドの原産地か出身地である場合

このうち、については、母語転移が既に奥野(2005)によって証明されているが、他のケースについての習得研究は今後の課題となる。

参考文献：

奥野由紀子(2005)『第二言語習得過程における言語転移の研究 日本語学習者による「の」の過剰使用を対象に』

鈴木康之(1978~1979)「ノ格の名詞と名詞とのくみあわせ(1・2・3・4)」『教育国語』55号, 56号, 58号, 59号

陆丙甫(2000)「汉语“的”和日语“の”的比较」《現代中国語研究》第一期

陆丙甫(2008)「再谈汉语“的”和日语“の”的区别」《外国語》(中国)第三期